

主体的・対話的で深い学びを 実現するための授業づくり

～ICT 機器の利活用を通して～

千葉県立長生特別支援学校



研究のポイント

これまで取り組んできた ICT 機器を活用した実践を「ICT 活用の4項目9観点（独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所）」で分類し、授業の教材研究や研修をすることで、職員の ICT に係る知識を深めた。また、「授業準備・振り返りシート」を作成して授業実践することで、ICT 活用の成果や課題、主体的・対話的で深い学びの姿について共有した。実践を共有することで、活用の幅が広がり、授業への効果的な活用につながった。

■学校の概要 <https://cms2.chiba-c.ed.jp/chosei-sh/>

昭和52年に創立し、知的障害教育、肢体不自由教育を対象とし、令和7年度は64名の児童生徒が在籍している。小学部、中学部、高等部が設置されており、学校教育目標の「夢に向かって 輝け！ 笑顔！ 進んで学び 心豊かに たくましく」に向け、子供たちが、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、将来の自立と社会参加を目指して、楽しく元気に学習できるように日々取り組んでいる。

■研究課題

個々の障害特性に応じた自立活動及び各教科等の授業づくりにおける、よりよいICTの利活用について検討する。

■研究の目的と方法

目的

- (1) ICT機器の利活用について、教師の知識理解を深めることで、授業に取り入れようとする認識を高める。
- (2) 「授業準備・振り返りシート」を用いて授業実践を行い、ICT機器を活用した授業の課題や留意点、効果的な活用について共有する。
- (3) 児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の姿と、それを支援する効果的なICT機器の利活用の在り方を明らかにする。

研究方法

- (1) これまで授業で実践したICT機器の活用を分類する。
- (2) 各教科・領域ごとに、ICT機器を活用した授業について教材研究をする。
- (3) 「授業準備・振り返りシート」を活用した授業実践、ポスター発表会をする。
- (4) 専門家による研修を実施する。
- (5) ICT 機器活用の実態、教職員の意識調査の実施。

■研究概要

【主な実践と成果】

(1) これまで授業で実践したICT機器活用を分類・整理

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所が示した「ICT活用の4観点9項目」に基づき、今まで行ってきたICT機器を活用した授業を分類した。活用の偏りについて気付いたり、活用例について共有したりすることができた。

(2) 各教科・領域ごとに、ICT機器を利活用した授業についての教材研究

職員それぞれが希望する教科領域でグループを編成し、年間指導計画に沿って、ICT機器をどのように活用できるか検討、教材研究を行った。活用したい場面や活動内容について学部を越えて話し合う機会を設けることで、活用アイデアを共有したり、職員間で教え合ったりしながら活用の幅を広げることができた。また、機器やアプリケーションに触る時間を設けることで、実際に授業で活用できるか、その際の留意点などのイメージを深めることができた。

(3) 「授業準備・振り返りシート」を活用した授業実践、ポスター発表会

(2)を基に学習グループでICT機器を活用した授業実践を行った。学級ごとに一つのシートを活用して授業を計画することで、多くの実践を集めることができた。「ICT機器ありきの授業」にならないことを意識し、授業としての評価やまとめを付けたシートにしたことで、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを引き出すためのICT機器の活用についてまとめることができた。ICT機器を活用することの効果について良いところだけでなく、実態との差異やトラブルなど今後の課題を見つけることができた。

(4) 専門家による講話の実施

帝京大学 金森克浩教授より「知的障害特別支援学校におけるICT機器の利活用について」という題で研修を実施した。また、機器に触れながらICT機器を利活用した活動について知識理解を深めることができた。

(5) ICT 機器活用実態、教職員の意識調査の実施

4月・12月に全職員を対象とする ICT 機器活用実態、教職員の意識調査を実施した。この取組を通して ICT 機器の活用頻度や方法の変化について、また活用に対する意識の変化について比較することができた。

(6) その他

- ・研究係と情報係を中心にミニ研修を行ったり、使い方動画を周知したりすることで、利活用を促進することができた。
- ・動画作成アプリ「KOMA KOMA」を使った作品発表を企画し、児童生徒による動画の作成、発表の機会を設けた。

【課題と今後に向けて】

職員の ICT 機器活用スキルが向上するよう、研修を継続して行っていくとともに、「授業準備・振り返りシート」の記載内容が簡潔になるよう整理する。また、効果的な活用方法についてのポイントを見つけ、「主体的・対話的で深い学びの姿」を実現するための授業づくりを目指していく。

関連資料

- ・ICT 活用の4観点9項目 「教材教具の活用と評価に関する研究」(2018)
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所